

## Civil Engineering Design and Exercise 1

1 unit (selection)

Fumiaki Nagao · PROFESSOR / CONSTRUCTION ENGINEERING, DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL ENGINEERING, Takao Ueda · PROFESSOR / REGIONAL AND URBAN PLANNING, DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL ENGINEERING

**Target)** 実践的な土木技術者として必要不可欠な設計製図の知識・技能・応用力を身につける。

**Outline)** 本演習では、下記3分野のうち1分野を選択する。構造部門: 道路橋合成桁を設計することにより、建造物設計の流れを習得するとともに、実践的な土木技術者として必要不可欠な応用力を養成する。土質部門: 土圧を受ける鉄筋コンクリート構造の設計。コンクリート部門: 単純支持の鉄筋コンクリート T 形ばりの設計を行う。

**Keyword)** 道路橋合成桁の設計, 土圧を受ける鉄筋コンクリート構造の設計, 鉄筋コンクリート T 形ばりの設計

**Fundamental Lecture)** “**Structural Mechanics 1**”(0.5), “**Structural Mechanics 2**”(0.5), “**Reinforced Concrete Mechanics**”(0.5), “**Soil Mechanics 1**”(0.5), “**Soil Mechanics 2**”(0.5)

**Relational Lecture)** “**Steel Structures**”(0.5), “**Basic Technology of Concrete**”(0.5), “**Geotechnical Engineering**”(0.5)

**Requirement)** (構造部門): 構造の力学 1, 構造の力学 2 の履修を前提とする。(土質部門): 土の力学 1, 土の力学 2, 地盤工学の履修を前提とする。(コンクリート部門): 鉄筋コンクリートの力学の履修を前提とする。

**Notice)** 第 1 週目のガイダンスに必ず出席する。出席できないものは、事前に連絡すること。

**Goal)** 与えられた条件下で建造物の設計製図ができる。

**Schedule)**

1. 第 1 回: ガイダンス及び分野の選択 (上記 3 分野のうちの 1 分野選択)
2. 第 2 回-第 14 回: 分野ごとに与えられた課題の演習
3. 第 15 回: レポート (設計書) 及び作成資料の提出

**Evaluation Criteria)** 到達目標の達成度をレポート (設計書) 及び作成資料により評価し、目標の達成度が 60% 以上を合格とする。

**Textbook)** 原則として、各課題ごとに資料が配付される。

**Reference)** 同上

**Webpage)** <http://www.ce.tokushima-u.ac.jp/lectures/N0018>

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215837>

**Student)** Able to be taken by only specified class(es)

**Contact)**

⇒ Nagao (A515, +81-88-656-9443, fumi@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 年度ごとに学科の掲示を参照すること)

⇒ Ueda (A502, +81-88-656-2153, ueda@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 年度ごとに学科の掲示を参照すること)

⇒ Ohsumi (A405, +81-88-656-9721, t\_ohsumi@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL